

宮城県推計人口（年報）

—平成18年10月1日現在—

1 推計人口の概要

平成18年10月1日現在の宮城県推計人口は235万4992人で、平成17年10月1日に行われた国勢調査と比べ、この1年間で5226人（▲0.22%）減少した。

自然動態では161人減少（出生1万9587人、死亡1万9748人）し、社会動態では5065人減少（転入12万4230人、転出12万9295人）した。

2 市町村別の状況

人口増減状況を市町村別にみると、この1年間で人口が増加したのは8市町（4市4町）、減少したのは28市町村（9市18町1村）で、県内の約8割の市町村で人口が減少した。

また、人口増加率が最も高いのは富谷町（2.79%）、次いで利府町（1.03%）、岩沼市（0.70%）で、最も低いのは川崎町（▲1.92%）、次いで七ヶ宿町（▲1.71%）、丸森町（▲1.69%）となっている。

3 広域圏別の状況

広域圏別にみると、最も人口の多い広域圏は仙台都市圏で146万6047人と県人口の62.25%を占め、次いで石巻圏、大崎圏の順となっている。

この1年間の人口増減数は、仙台都市圏で2768人増加しているのを除き、他の全ての広域圏で減少となっている。

また、社会動態においては、全ての広域圏で減少となった。

★この年報については、インターネットでの情報提供も行っております。

利用に当たって

1 推計方法

平成 17 年国勢調査の人口を基礎とし、平成 17 年 10 月 1 日から平成 18 年 9 月 30 日までの 1 年間に、「住民基本台帳法」及び「外国人登録法」に基づき届出等があった出生・死亡・転入・転出者等の数を加減して算出している。

$$\begin{aligned} \text{推計人口} = & \text{国勢調査人口} & + & \text{住民基本台帳に基づく日本人の自然増減 (出生－死亡)} \\ & & + & \text{外国人登録法に基づく外国人の自然増減 (出生－死亡)} \\ & & + & \text{住民基本台帳に基づく日本人の社会増減 (転入－転出)} \\ & & + & \text{外国人登録法に基づく外国人の社会増減 (転入－転出)} \end{aligned}$$

2 推計人口と住民基本台帳に基づく人口の相違

推計人口の基礎となる国勢調査人口は 3 ヶ月以上そこに住んでいるか又は住むことになっている全ての人を対象としているが、住民基本台帳人口は住民登録されている日本人の数を対象としている。

3 人口動態統計（厚生労働省所管）と当調査による出生・死亡の相違

人口動態統計は、出生者及び死亡者について当該年の 1 月 1 日から翌年 1 月 14 日までに届け出られたもののうち、当該年に発生した数を取りまとめる「発生主義」を採用しているが、当調査は当該年中に届け出られたものを当該年（月）の数とする「届け出主義」を採用している。このため、発生日と届出日のずれにより両者の数は一致しない。

4 広域圏の区分

仙 南 圏	白石市 角田市 刈田郡 柴田郡 伊具郡（2市7町）
仙 台 都 市 圏	仙台市 塩竈市 名取市 多賀城市 岩沼市 亘理郡 宮城郡 黒川郡 （5市8町1村）
大 崎 圏	大崎市 加美郡 遠田郡（1市4町）
栗 原 圏	栗原市（1市）
登 米 圏	登米市（1市）
石 巻 圏	石巻市 東松島市 牡鹿郡（2市1町）
気仙沼・本吉圏	気仙沼市 本吉郡（1市2町）

問い合わせ先 : 宮城県 企画部 統計課 人口生活班
022 - 211 - 2456

インターネット ホームページアドレス :
<http://www.pref.miyagi.jp/toukei/>

宮城県推計人口集計結果

1 推計人口

平成18年10月1日現在の本県の推計人口は、235万4992人(男子114万5092人、女子120万9900人)で、平成17年10月1日に行われた国勢調査に比べて5226人(▲0.22%)減少した。

人口増減数の内訳をみると、自然動態は161人減少(出生1万9587人、死亡1万9748人)し、社会動態は5065人減少(転入12万4230人、転出12万9295人)している。

人口性比(女性100人に対する男性の数)は94.6となり、平成17年国勢調査に比べて0.3ポイント低下した。

表1 宮城県推計人口(平成18年10月1日現在)

(単位:人)

区分		総数	男	女	
平成18年10月1日現在 推計人口 ①(⑧+⑨)		2,354,992	1,145,092	1,209,900	
自然 動態	出生者数 ②	19,587	9,954	9,633	
	死亡者数 ③	19,748	10,662	9,086	
	自然増加数 ④ (② - ③)	▲ 161	▲ 708	547	
社会 動態	転 入 者 数 ⑤	県内から	64,775	32,206	32,569
		県外から	57,018	31,891	25,127
		職権記載・ その他の増	2,437	1,435	1,002
		合 計	124,230	65,532	58,698
	転 出 者 数 ⑥	県内へ	64,028	31,779	32,249
		県外へ	61,709	34,951	26,758
		職権消除・ その他の減	3,558	2,174	1,384
	合 計	129,295	68,904	60,391	
	社会増加数 ⑦ (⑤ - ⑥)	▲ 5,065	▲ 3,372	▲ 1,693	
	人口増加数 ⑧ (④ + ⑦)	▲ 5,226	▲ 4,080	▲ 1,146	
平成17年10月1日現在 国勢調査人口 ⑨		2,360,218	1,149,172	1,211,046	

表2 人口及び増加率等の推移

(単位：人、%)

年 (10月1日現在)	総人口	増加率		男女別		
		対前回増加率	年平均増加率	男	女	性比(女=100)
昭和55年	2,082,320	6.50	1.26	1,025,903	1,056,417	97.1
60年	2,176,295	4.51	0.88	1,071,741	1,104,554	97.0
平成2年	2,248,558	3.32	0.65	1,105,103	1,143,455	96.6
7年	2,328,739	3.57	0.70	1,144,739	1,184,000	96.7
12年	2,365,320	1.57	0.31	1,158,622	1,206,698	96.0
17年	2,360,218	-0.22	-0.04	1,149,172	1,211,046	94.9
18年	2,354,992	-	-0.22	1,145,092	1,209,900	94.6

* 昭和55年～平成17年は国勢調査結果。平成18年は平成17年を基礎とした推計人口。
 * 平成18年の年平均増加率は対前年増加率。
 * 年平均増加率 = $(Pt - Po) \div t \div (Pt + Po) \div 2 \times 100$
 Po：時点o(期首)の数値 Pt：時点t(期末)の数値 t：期間の長さ

図1 人口及び増加率等の推移

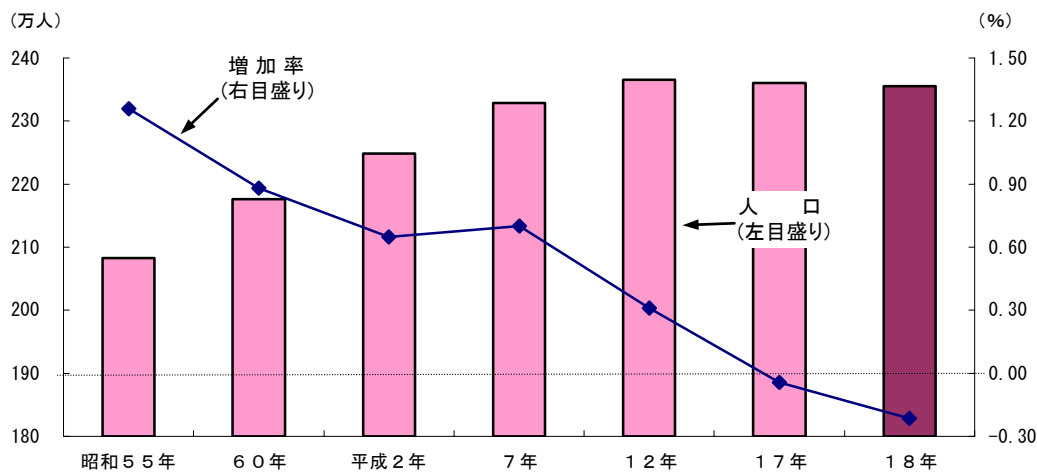


表3 自然動態・社会動態の推移

(単位：人、%)

年 10月1日 現在	総人口	自然動態						社会動態					
		年間 増加数 A(B+C)	増加率	自然 増加数 B(a-b)	出生数		社会 増加数 C(c-d)	増加率	転入者数		転出者数		
					増加率	a			b	増加率	c	県外から	d
平成14年	2,370,280	1,689	0.07	4,354	0.18	21,903	17,549	▲2,665	▲0.11	135,593	61,255	138,258	63,959
平成15年	2,371,683	1,403	0.06	2,964	0.13	21,067	18,103	▲1,561	▲0.07	134,819	61,655	136,380	62,878
平成16年	2,370,985	▲698	▲0.03	2,304	0.10	20,625	18,321	▲3,002	▲0.13	130,909	59,378	133,911	62,435
平成17年	2,360,218	-	-	▲51	▲0.00	19,751	19,802	▲3,984	▲0.17	127,087	58,141	131,071	62,331
平成18年	2,354,992	▲5,226	▲0.22	▲161	▲0.01	19,587	19,748	▲5,065	▲0.21	124,230	57,018	129,295	61,709

* 平成17年の総人口は国勢調査結果のため、平成16年の総人口との差は平成17年の自然・社会増加数の合計に一致しない。
 * 増加率=年間増加数(自然増加数、社会増加数)÷前年推計人口または国勢調査人口×100
 * 社会動態の「県外」には国外を含む。また、「県外からの転入者」から「県外への転出者」を差し引いても住民票届出時期等の関係から社会増加数に一致しない。

2 市町村別人口の状況

市町村別に人口増減状況をみると、この1年間に人口が増加したのは8市町（4市4町）、減少したのは28市町村（9市18町1村）で、県内の約8割の市町村で人口が減少した。

これを増加率で見ると富谷町（2.79%）、利府町（1.03%）、岩沼市（0.70%）等で高く、川崎町（▲1.92%）、七ヶ宿町（▲1.71%）、丸森町（▲1.69%）等で低くなっている。

表4 市町村別人口及び増加率の状況

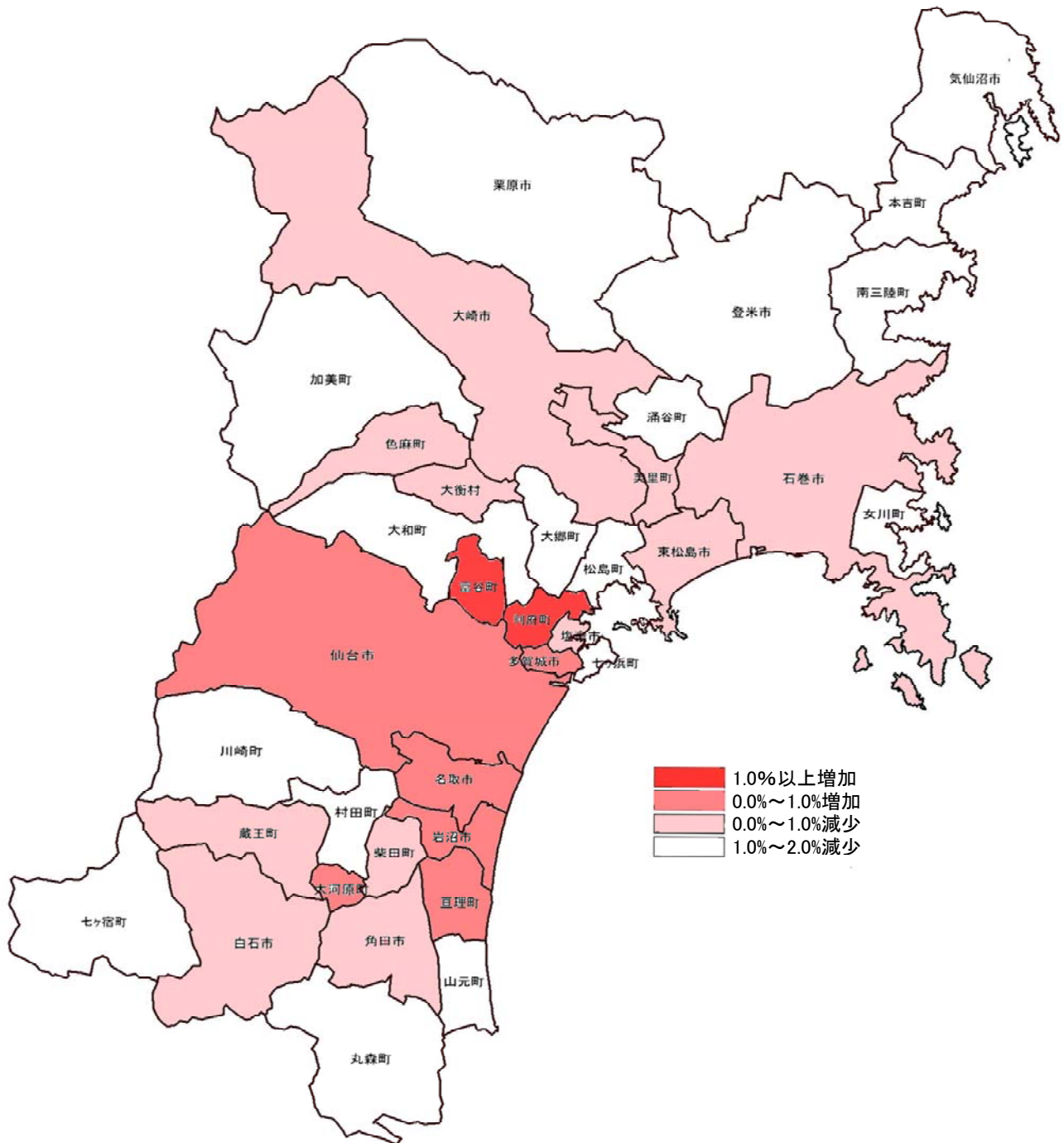
順位	市町村	H18. 10. 1		
		推計人口 (人)	増加率 (%)	増加数 (人)
	県計	2,354,992	▲ 0.22	▲ 5,226
	市部計	1,914,005	▲ 0.18	▲ 3,506
	郡部計	440,987	▲ 0.39	▲ 1,720
1	富谷町	42,752	2.79	1,159
2	利府町	32,590	1.03	333
3	岩沼市	44,228	0.70	307
4	多賀城市	63,070	0.52	325
5	大河原町	23,444	0.47	109
6	仙台市	1,027,329	0.22	2,231
7	亶理町	35,193	0.17	61
8	名取市	68,775	0.16	113
9	柴田町	39,781	▲ 0.07	▲ 28
10	東松島市	43,191	▲ 0.10	▲ 44
11	大衡村	5,587	▲ 0.36	▲ 20
12	色麻町	7,821	▲ 0.45	▲ 35
13	蔵王町	13,255	▲ 0.47	▲ 63
14	大崎市	137,724	▲ 0.55	▲ 767
15	角田市	32,968	▲ 0.70	▲ 231
16	石巻市	165,838	▲ 0.89	▲ 1,486
17	白石市	39,121	▲ 0.94	▲ 371
18	美里町	26,076	▲ 0.96	▲ 253
19	塩竈市	58,766	▲ 1.00	▲ 591
20	大郷町	9,321	▲ 1.09	▲ 103
21	女川町	10,603	▲ 1.12	▲ 120
22	村田町	12,593	▲ 1.15	▲ 147
23	加美町	26,896	▲ 1.16	▲ 316
24	登米市	88,254	▲ 1.19	▲ 1,062
25	山元町	17,497	▲ 1.22	▲ 216
26	松島町	15,995	▲ 1.22	▲ 198
27	気仙沼市	65,606	▲ 1.23	▲ 817
28	七ヶ浜町	20,788	▲ 1.33	▲ 280
29	栗原市	79,135	▲ 1.39	▲ 1,113
30	本吉町	11,426	▲ 1.40	▲ 162
31	大和町	24,156	▲ 1.44	▲ 353
32	涌谷町	18,143	▲ 1.45	▲ 267
33	南三陸町	18,343	▲ 1.62	▲ 302
34	丸森町	16,508	▲ 1.69	▲ 284
35	七ヶ宿町	1,839	▲ 1.71	▲ 32
36	川崎町	10,380	▲ 1.92	▲ 203

* 人口増加率の高い順。

* 増加率・増加数は、平成17年国勢調査の確定値と比較している。

* 気仙沼市、大崎市、美里町は、合併後の市町区分で集計している。

図2 市町村別人口増加率の状況



3 広域圏別人口の状況

広域圏別にみると、最も人口の多い広域圏は仙台都市圏で146万6047人と県人口の62.25%を占め、次いで石巻圏21万9632人(9.33%)、大崎圏21万6660人(9.20%)の順となっている。

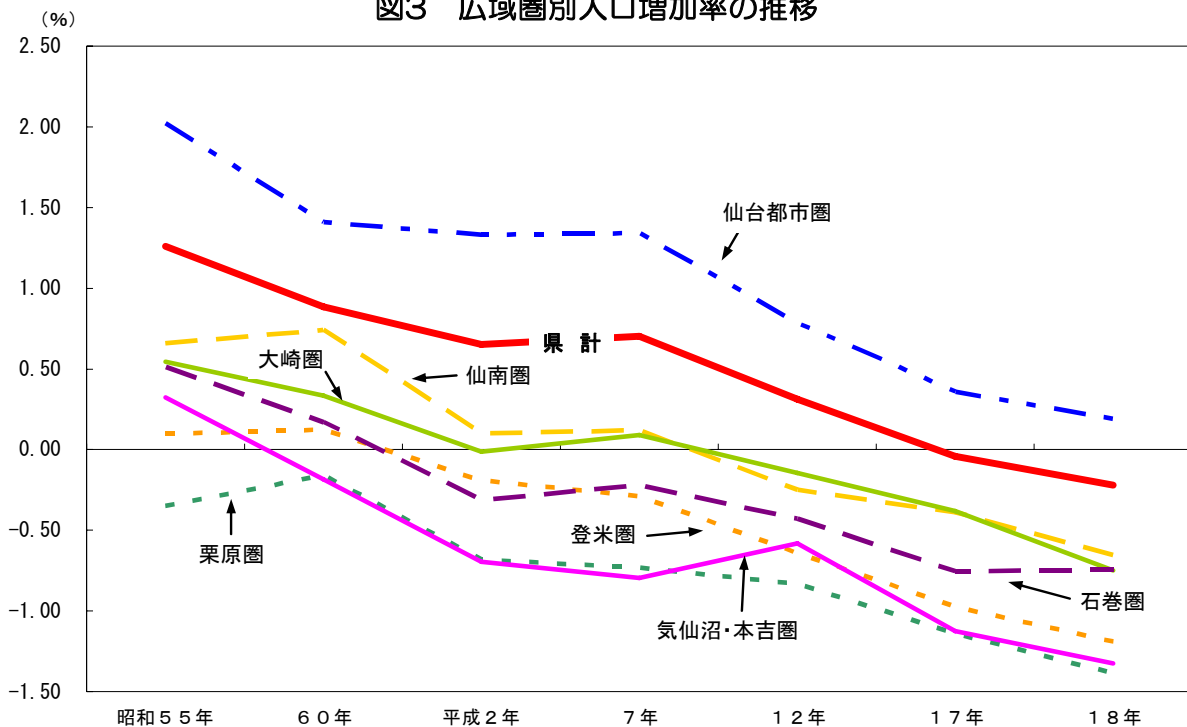
また、この1年間の人口増減数では、仙台都市圏が2768人(0.19%)増加しているのを除き、他の全ての広域圏で減少となっている。仙台都市圏では仙台市(2231人)、富谷町(1159人)、利府町(333人)等で増加したが、その増加率は低下傾向となっている。

なお、1km²当たりの人口密度は、仙台都市圏(889.3人)、石巻圏(303.7人)、気仙沼・本吉圏(191.9人)、登米圏(164.5人)、大崎圏(142.2人)、仙南圏(122.4人)、栗原圏(98.3人)の順となっている。

表5 広域圏別人口及び人口増加率

広域圏名	H18.10.1				H17.10.1 国勢調査人口 (人)
	推計人口 (人)	年間増加数 (人)	増加率 (%)	割合 (%)	
県計	2,354,992	▲ 5,226	▲ 0.22	100.00	2,360,218
仙南圏	189,889	▲ 1,250	▲ 0.65	8.06	191,139
仙台都市圏	1,466,047	2,768	0.19	62.25	1,463,279
大崎圏	216,660	▲ 1,638	▲ 0.75	9.20	218,298
栗原圏	79,135	▲ 1,113	▲ 1.39	3.36	80,248
登米圏	88,254	▲ 1,062	▲ 1.19	3.75	89,316
石巻圏	219,632	▲ 1,650	▲ 0.75	9.33	221,282
気仙沼・本吉圏	95,375	▲ 1,281	▲ 1.33	4.05	96,656

図3 広域圏別人口増加率の推移



* 昭和55年～平成17年までの増加率は年平均増加率。平成18年は対前年増加率。

* 年平均増加率の算出式は表1に同じ。

* 平成12年以前の登米圏、気仙沼・本吉圏は、合併後の市町区分で、再集計している。

4 自然動態

(1) 概況

自然動態の出生・死亡についてみると、この1年間の出生者数は1万9587人(男子9954人、女子9633人)、死亡者数は1万9748人(男子1万662人、女子9086人)で、161人(▲0.01%)の減少となっている。また、出生率は8.32‰、死亡率は8.39‰となっている。

(2) 市町村別状況

自然動態を市町村別にみると7市町(4市3町)で増加し、29市町村(9市19町1村)で減少となった。自然増加率が最も高いのは富谷町(0.60%)、次いで多賀城市(0.55%)、岩沼市(0.36%)等で、最も低いのは丸森町(▲0.78%)、次いで栗原市(▲0.74%)、村田町(▲0.69%)等となっている。

また、出生率が最も高いのは多賀城市(11.24‰)、最も低いのは七ヶ宿町(5.44‰)で、死亡率が最も高いのは栗原市(14.09‰)、最も低いのは富谷町(4.65‰)となっている。

表6 自然増加率及び出生・死亡率の上位・下位市町村

	自然増加率 (%)	出生率 (‰)	死亡率 (‰)
高 ↑	1 富谷町 0.60	1 多賀城市 11.24	1 栗原市 14.09
	2 多賀城市 0.55	2 岩沼市 10.51	2 丸森町 13.93
	3 岩沼市 0.36	3 富谷町 10.48	3 本吉町 13.65
	4 仙台市 0.29	4 大河原町 9.90	4 南三陸町 13.41
	5 利府町 0.28	5 大和町 9.15	5 村田町 13.34
	6 大河原町 0.17	6 仙台市 9.07	6 色麻町 13.30
	7 名取市 0.11	7 大崎市 8.70	7 登米市 13.21
	⋮	⋮	⋮
低 ↓	32 七ヶ宿町 ▲0.64	32 女川町 5.85	32 名取市 6.91
	33 本吉町 ▲0.66	33 蔵王町 5.81	33 仙台市 6.22
	34 村田町 ▲0.69	34 松島町 5.75	34 多賀城市 5.82
	35 栗原市 ▲0.74	35 山元町 5.49	35 利府町 5.31
	36 丸森町 ▲0.78	36 七ヶ宿町 5.44	36 富谷町 4.65

* 出生・死亡率とは、人口1000人あたりの出生・死亡数である。

(3) 広域圏別状況

自然動態を広域圏別にみると、増加した広域圏は仙台都市圏(3391人・0.23%)のみで、他の6広域圏ではすべて減少となっている。

表7 広域圏別自然増加数(率)及び出生・死亡者数(率)

(単位：人)

	自然増加数(人)		出生者数(人)		死亡者数(人)	
	増加数	増加率(%)	出生者数	出生率(‰)	死亡者数	死亡率(‰)
県計	▲161	▲0.01	19,587	8.32	19,748	8.39
仙南圏	▲660	▲0.35	1,373	7.23	2,033	10.71
仙台都市圏	3,391	0.23	13,047	8.90	9,656	6.59
大崎圏	▲584	▲0.27	1,731	7.99	2,315	10.68
栗原圏	▲595	▲0.74	520	6.57	1,115	14.09
登米圏	▲518	▲0.58	648	7.34	1,166	13.21
石巻圏	▲678	▲0.31	1,654	7.53	2,332	10.62
気仙沼・本吉圏	▲517	▲0.53	614	6.44	1,131	11.86

5 社会動態

(1) 概況

社会動態の転入・転出についてみると、この1年間の転入者数は12万4230人(県内移動・職権記載等を含む)、転出者数は12万9295人(県内移動・職権消除等を含む)で、5065人の転出超過となっている。

(2) 市町村別状況

社会動態を市町村別にみると、8市町(2市6町)で増加し、27市町(11市16町)で減少となった(大衡村は増減なし)。社会増加率の最も高いのは富谷町(2.19%)、次いで利府町(0.75%)、巨理町(0.36%)等で、最も低いのは川崎町(▲1.43%)、次いで大和町(▲1.42%)、七ヶ浜町(▲1.23%)等となっている。

また、転入率が最も高いのは多賀城市(7.86%)、最も低いのが丸森町(1.99%)で、転出率が最も高いのも多賀城市(7.89%)、最も低いのは色麻町(2.39%)となっている。

表8 社会増加率及び転入・転出の上位・下位市町村

	社会増加率 (%)	転入率 (%)	転出率 (%)
高 ↑	1 富谷町 2.19	1 多賀城市 7.86	1 多賀城市 7.89
	2 利府町 0.75	2 仙台市 7.35	2 大和町 7.77
	3 巨理町 0.36	3 富谷町 6.76	3 仙台市 7.42
	4 岩沼市 0.34	4 大和町 6.33	4 岩沼市 5.25
	5 大河原町 0.30	5 岩沼市 5.58	5 七ヶ浜町 5.21
	6 色麻町 0.09	6 利府町 5.34	6 柴田町 4.90
	7 名取市 0.06	7 大河原町 5.17	7 名取市 4.90
	8 蔵王町 0.05	8 名取市 4.95	8 大河原町 4.88
∴	∴	∴	
低 ↓	32 南三陸町 ▲1.00	32 気仙沼市 2.30	32 登米市 2.94
	33 七ヶ宿町 ▲1.07	33 南三陸町 2.14	33 丸森町 2.92
	34 七ヶ浜町 ▲1.23	34 栗原市 2.13	34 本吉町 2.80
	35 大和町 ▲1.42	35 本吉町 2.05	35 栗原市 2.79
	36 川崎町 ▲1.43	36 丸森町 1.99	36 色麻町 2.39

(3) 広域圏別状況

社会動態を広域圏別にみると、全ての広域圏で減少となった。最も減少数が多いのは大崎圏で1054人の減少、増加率が最も低いのは気仙沼・本吉圏で0.79%の減少となっている。

表9 広域圏別社会増加数(率)及び転入・転出者数(率)

	社会増加数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
	増加数	増加率(%)	転入者数	転入率(%)	転出者数	転出率(%)
県計	▲5,065	▲0.21	124,230	5.28	129,295	5.49
仙南圏	▲590	▲0.31	6,857	3.61	7,447	3.92
仙台都市圏	▲623	▲0.04	98,298	6.70	98,921	6.75
大崎圏	▲1,054	▲0.48	6,949	3.21	8,003	3.69
栗原圏	▲518	▲0.65	1,687	2.13	2,205	2.79
登米圏	▲544	▲0.61	2,049	2.32	2,593	2.94
石巻圏	▲972	▲0.44	6,256	2.85	7,228	3.29
気仙沼・本吉圏	▲764	▲0.79	2,134	2.24	2,898	3.04

第2表 宮城県推計人口月次推移

(単位:人・%)

年 月	総人口	対前月		対前年(回)		自然			社会				
		人口増減数 A(B+C)	増減率	同月 増減数	増減率	増減数 B(a-b)	出生 a	死亡 b	増減数 C(c-d)	転入 c		転出 d	
										県外から		県外へ	
H 2 10.1	★ 2,248,558	-	-	☆ 72,263	3.32	-	-	-	-	-	-	-	-
H 7 10.1	★ 2,328,739	-	-	☆ 80,181	3.57	-	-	-	-	-	-	-	-
H12 10.1	★ 2,365,320	-	-	☆ 36,581	1.57	-	-	-	-	-	-	-	-
H17 10.1	★ 2,360,218	-	-	☆ ▲ 5,102	▲ 0.22	133	1,627	1,494	▲ 1,055	8,373	3,530	9,428	4,393
11.1	2,360,770	552	0.02	-	-	83	1,664	1,581	469	9,409	4,333	8,940	4,007
12.1	2,360,716	▲ 54	▲ 0.00	-	-	▲ 138	1,506	1,644	84	7,771	2,784	7,687	2,705
H18 1.1	2,360,301	▲ 415	▲ 0.02	-	-	▲ 205	1,516	1,721	▲ 210	7,330	2,515	7,540	2,837
2.1	2,359,578	▲ 723	▲ 0.03	-	-	▲ 532	1,586	2,118	▲ 191	6,493	2,741	6,684	2,780
3.1	2,358,698	▲ 880	▲ 0.04	-	-	▲ 175	1,460	1,635	▲ 705	7,411	2,757	8,116	3,289
4.1	2,349,928	▲ 8,770	▲ 0.37	-	-	▲ 141	1,670	1,811	▲ 8,629	21,655	10,789	30,284	17,831
5.1	2,355,938	6,010	0.26	-	-	▲ 94	1,478	1,572	6,104	21,542	12,584	15,438	7,903
6.1	2,355,834	▲ 104	▲ 0.00	-	-	197	1,868	1,671	▲ 301	8,815	3,803	9,116	3,969
7.1	2,355,348	▲ 486	▲ 0.02	-	-	145	1,694	1,549	▲ 631	7,624	3,003	8,255	3,648
8.1	2,355,471	123	0.01	-	-	220	1,686	1,466	▲ 97	9,222	4,369	9,319	4,482
9.1	2,356,028	557	0.02	-	-	308	1,859	1,551	249	9,189	4,211	8,940	3,998
10.1	2,354,992	▲ 1,036	▲ 0.04	▲ 5,226	▲ 0.22	171	1,600	1,429	▲ 1,207	7,769	3,129	8,976	4,260

注1 ★印は国勢調査結果。☆印は前回国勢調査との差。

注2 社会増減数には、職権等による増減を含む。

注3 表中の▲は、「減少」を示す。

注4 H17.10.1の対前月人口増減数及びH17.10.1～H18.9.1の対前年同月増減数は、基準となる国勢調査の値が異なるため比較できない。